

科名 外科  
対象疾患 HER2陽性乳癌  
プロトコール名 フェスゴ+PTX初回

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	皮下注		フェスゴIN	15mL	大腿部に8分以上かけて 投与後30分経過観察	↓						
2	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
3	点滴注	側管	デキサート ファモチジン 生食	13.2mg 20mg 50mL	30分かけて	↓						
4	点滴注	側管	デキサート ファモチジン 生食	6.6mg 20mg 50mL	30分かけて			↓		↓		
5	点滴注	側管	ポララミン 生食	5mg 50mL	30分かけて	↓		↓		↓		
6	点滴注	側管	パクリタキセル 生食	80mg/m <sup>2</sup> 250mL	60分かけて	↓		↓		↓		

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

＜フェスゴ＞

痩せている等、皮下組織が少ないまたは下肢浮腫により大腿部への皮下投与が難しい患者はペルツズマブ、トラスツズマブの点滴静注の投与を検討

6週以上投与間隔が空いた場合はフェスゴINから投与する。

投与部位は大腿のみ(トラスツズマブ皮下製剤の試験において腹部に比べ大腿への投与のほうがバイオアベイラビリティが30%高かったとの報告がある。)

＜パクリタキセル＞

アルコール含有。アルコールアレルギーの確認を。

PVCフリーかつフィルター付きのものを使用。

アレルギー対策：初回デキサート増量(13.2mg)

初回、二回目まではアレルギーの出現に注意。

パクリタキセル投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

自然落下方式で投与する場合、輸液セットに表示されている滴数で投与速度を設定すると、目標に比べ投与速度が低下するので、滴数を増加させて設定する等の調整が必要である。

滴下制御型輸液ポンプを用いる場合は、流量を増加させて設定する等の調整が必要である。